

和光樹林公園コナラの森づくり事業 保全整備 報告 2

平成20年8月5日

平成20年7月15日(保全活動) 参加者 内田、飯島、坂井、大畑、寺井、高橋

育成しているコナラ、クヌギなどと共生しながら多様な植生を維持していくために、マーキングしてあるところ以外を草刈りを進めました。

保存草本はオトギリソウ、ヒヨドリバナ、カントウヨメナ、オトコエシ、ヤブカンゾウなど。

保存樹木は、コナラ、クヌギ(小さなドングリ)など育てているもの意外に、イボタ(花)、ムラサキシキブ(実)、コムラサキ(実)、コウゾ、ニワトコ、一部のクサギ、マユミ、ニガイチゴ、ヤマハギ、一部のクワ(これらは多様な昆虫たちがすめるように一部を残す)、蔓植物ではセンニンソウ、ノブドウ、ヤブマメ、ヒヨドリジョウゴ(花)など。多様な植物を維持することは、多様な昆虫たちの棲みやすい環境を作ることに繋がると考えます。

オトギリソウの黄色い花

ツコムシ(草原に多く、昼間に活動する)



ヤマブキ・イボタの陰に見つけました。



大畑さん(新会員)草刈機は慣れているとの事。これからの活躍を期待してます。

10月5日は秋の昆虫探し・森あそび
NPO 法人 和光・緑と湧き水の会
代表理事 高橋絹世

7月の草刈り整備では、樹木周りの草刈り、蔓の除去、マユミ、ヒヨドリジョウゴ、オトコエシの確認を中心に、コナラ、クヌギの若い森の環境整備を行ないました。

コナラの森以外の樹林地も8月中には一度草刈りが必要と思います。

